

NEWS LETTER

福井大学 男女共同参画推進センター第15号 H28.10発行

NEWS
1

「福井大学オープンキャンパス2016」が開催されました

「福井大学オープンキャンパス2016」が、8/9(火)文京キャンパス、8/10(木)松岡キャンパスにて開催されました。

男女共同参画推進センターでは「女性研究者ロールモデル&支援事業紹介パネル展示」を行い、オープンキャンパスに訪れた高校生や保護者の方を対象に、本センターの取組、福井大学で活躍する女性研究者の研究内容等を紹介しました。

また、文京キャンパスでは、女性研究者による「理系女子応援セミナー」や、来場した高校生が研究内容や進路選択などについてリケジョの学生・教員・技術スタッフから、対話形式で話を聞くことができる「リケジョ相談コーナー」も開設されました。参加者から

「女性にも建築の先生がいて、話を聞けて良かった」「研究者は男性のほうが多いイメージがありましたが、女性の方も活躍していてすごいなと思った」「理系にくる女の子ってどんな感じが全然わからなくて不安だったけど、生の声を聞いて不安もとれた」「知りたいこともしっかり知れたのでよかった」などの声が聞かれました。



NEWS
2

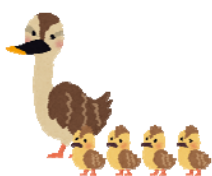
女性研究者交流サロン（ランチミーティング）を開催しました

8月25日(木)にランチミーティングが開催されました。今回は、現在育児休暇中であり、9月より職場復帰する女性研究者や男性職員2名を含む7名の参加がありました。

ランチミーティングでは、子育ての楽しさや大変さ、一人目の子どもと二人目の子どもの成長の違いやご自身の身体の回復の違い、子どもの成長を見守る微笑ましいお話等があり、若手職員や男性職員も興味深く聞き入っていました。また、9月に職場復帰する女性研究者からは、1週間後の職場復帰を控えた心境や準備、不安などをお話し頂きました。



アドバイザーの先生からは、「大学の支援制度や福井県、福井市の子育て支援制度を上手に活用して仕事や研究と育児の両立をさせるように。」とのアドバイスがあり、参加者にとって大変有意義な交流会となりました。





女性研究者の研究活動と育児の両立を支援するため、病気療養中又は病気回復期にある子を保育施設に預ける場合の利用料に対する費用の助成を行っています。随時相談を受け付けていますので、ご連絡ください。

対象者

女性研究者
・
女性医員

男性研究者
(※)

- 小学校3年生までの子を養育している方

ただし、産前産後休暇中、育児休業中の方、3人目以降3歳までの子は除きます。(3人目以降で3歳までの子については、福井県が「ふくい3人っ子応援プロジェクト」にて助成をしています。)

※男性研究者の場合、配偶者が大学等(大学共同利用機関、独立行政法人を含む)において研究に従事(1週間あたりの勤務時間が38時間45分以上)している方が対象です。

助成内容

子ども1人につき年度内12回を上限に、病児保育施設等の利用金額の半額(1日1,000円を上限)を助成。(利用した日が連続した場合は1回とします。)

対象施設(一例)

市町名	施設名	病児保育	病後児保育
福井市	福井県済生会乳児院	—	○
〃	福井総合クリニック	—	○
〃	福井愛育病院 「愛育ちびっこハウス」	○	○
〃	大滝病院	○	○
鯖江市	斉藤病院「わらべ」	○	○
坂井市	つちだ小児科 「すくすくハウス」	○	○

Topic

育メン★インタビュー

＜リハビリテーション部 成瀬廣亮さん＞



Q1.家族構成と今回取得している休暇について教えてください。

妻、長男、僕の三人家族です。妻の産前、産後休暇中に1ヶ月強の育児休業を頂きました。

Q2..育児休業を取得しようとしたきっかけと職場の反応を教えてください。

産後に妻が実家に帰ることができなかった事情があり育児休業を取ろうと思いました。職場は女性、男性かかわらず、育児に対して協力的なスタッフが多く、皆さんから「頑張って」と背中を押してもらって心強かったですし、安心して育児休業を取ることができました。

Q3.実際に育休を取得してみて、いかがでしたか。

喜怒哀楽の多い時間でした。出産後の妻の体や心の変化、家族が増えたことの期待や不安、給料や町民税といったお金のことなど考えさせられることが多いんだなあと感じました。

Q4.学内のこれからパパになる方へ、メッセージをお願いします。

ぜひ育児休業を取ることに挑戦してみてください。仕事よりもなかなかハードでした。

